

神森男子美東女子制す

県中学校春季ハンド

ハンドボールの第41回県中学校春季選手権大会最終日は28日、東風平運動公園体育館で男女の決勝までを行った。女子は美東が28-17で神森を下し、初優勝を飾った。男子は神森が36-26で具志川を圧倒し、6年ぶり12度目の頂点に立った。

【男子】		【女子】	
▽決勝トーナメント準決勝	神 森 34	▽決勝トーナメント準決勝	美 東 26
神 森 1915	1611	美 東 1313	1314
具志川 29	1612	西 島 8	59
具志川 1316	28	西 島 8	12
▽同3位決定戦	港 川 43	▽同3位決定戦	西 島 8
港 川 2320	1817	西 島 7	62
▽同決勝	神 森 36	▽同決勝	神 森 17
神 森 1224	1610	神 森 1612	710
具志川 26	1610	神 森 17	17
美 東 28	1612	神 森 17	17
美 東 1612	710	神 森 17	17
美 東 17	17	神 森 17	17
美 東 17	17	神 森 17	17

男子決勝 神森一具志川 鋭いロングシュートを放つ神森の平仲航主将



多彩な攻撃披露

神森 6年ぶり頂点

○：持ち前の粘り強い守備と、攻守の切り替えの速さで6年ぶりの優勝を決めた男子神森。前半から具志川を相手に多彩な攻撃パターンを披露し、36-26で圧勝を収めた。
序盤から統制の取れたプレーを展開した。主将でセンターの平仲航が鋭いロングシュートを決めれば、池原諸有紀は場面に応じてセンターと左サイドにポジションチェンジし、相手を翻弄（ほんろう）した。課題とされてきた守備からの速攻も飛び出し、前半だけで14点差。後半もポストプレーなどで粘る具志川に速攻、スカイなどで応戦し、力の差を見せつけた。
「前半で差がついていたから、強気で攻められたと振り返る平仲。池原も「速攻を狙っていたので、決められて良かった」と話した。



全国経験、大きく成長

美東初の栄冠

3月の全国大会で3位入賞を果たした美東は、大舞台を経験し着実に力をつけてきた。一昨年覇者の強豪・神森を相手に、決勝は11点差で勝ち、初の栄冠をつかんだ。
序盤は速攻の好機でもハスミスが重なり、一時はリードを許した。しかし、6-7の1点を追う場面で左45度のエース・金城菜摘が相手守備の隙間から力強いロングシュートを決めると、右サイドの城間陽菜も角度のない場所からシュートに成功。チームは4連続得点で逆転した。
2点差をつけて折り返した後半も、金城、城間らが得点を重ねると、勢いを増した。GKで主将の具志堅夏美が、ポストプレーで至近距離から放たれたシュートも止めるなど好セーブを連発。チームは最高8連続得点を決め、粘る神森を引き離した。
「落ち着いたプレーができた」と振り返るのは、サイド攻撃が光った城間。全国大会を終えてから、シュートフォームをよりダイナミックな動きに変え、球威を増したそうだ。

それでも「シュートを入れた分だけ、外してしまったのも多かった」と、反省を口にした城間。「シュートの精度を高めるのはもちろん、1対1の当たりも強くして、夏の中学総体で全国制覇したい」と、大舞台へのリベンジを誓った。（仲本文子）

女子決勝 美東-神森 右サイドからシュートを放つ美東の城間陽菜 28日、東風平運動公園体育館（山城博明撮影）